

アスベスト被害相談会 & 患者と家族の集い

18歳で悪性胸膜中皮腫を発症し手術を受けた田中奏実さんや、悪性胸膜中皮腫の手術後、理学療法士の仕事に復職した渡辺益孝さんにご自身の体験をお話していただくとともに、悪性腹膜中皮腫の治療を続けながら介護サービス付き高齢者向け住宅を経営している青山和弘さんに中皮腫患者の介護保険制度利用についてお話していただきます。

日時
&
会場

2019年

10月19日 **土** 相談会 9:30~12:00
集い 13:00~15:00

岐阜市文化センター 第2会議室 (岐阜市金町5丁目7番地2)

相談会

9:30~12:00

相談電話番号 070-5251-9840

相談無料

集い

13:00~15:00 参加費：無料

第一部 講演

田中奏実さん「18歳で悪性胸膜中皮腫になって」

渡辺益孝さん「悪性胸膜中皮腫発症9年目になりましたー治療と復職の実際ー」

青山和弘さん「中皮腫患者の介護保険制度の利用について」

第二部 交流会

患者・家族が集まって親睦を図ります。会員以外の参加も受け付けます。

田中奏実さんプロフィール

北海道札幌市在住。1990年1月生まれ。2008年10月、札幌の短大に通っている時に悪性胸膜中皮腫の診断を受ける。短大を休学し静岡県の病院で抗がん剤・左肺全摘手術・放射線治療を受けた。2009年10月に短大に復学し2011年3月に卒業。現在は、製菓会社にパート勤務する傍ら、「中皮腫サポートキャラバン隊」の活動に参加している。「NPO法人がんサポート北海道」の大島代表の紹介で、「北海道でがんとともに生きる」という本の出版にあたって体験記を寄稿した。

渡辺益孝さんプロフィール

1967年生まれ。愛知県在住。2010年12月に悪性胸膜中皮腫を発症。アリムタ+シスプラチンの抗がん剤治療2回を経て、左肺胸膜全摘手術と放射線治療を受ける。2011年9月、病院での理学療法士の仕事に復帰。現在は半年毎にCT、1年から1年半毎にPET検査を受け経過を観察している。

青山和弘さんプロフィール

1967年7月生まれ。飛騨市で介護サービス付き高齢者向け住宅を経営。事業を立ちあげようとしていた2015年5月に悪性腹膜中皮腫を発症。同年7月に手術を受けた。手術後、アリムタ+シスプラチンの化学治療を6回受け、その後は現在まで3週間に1回のペースでアリムタ単剤の投与を受けている。治療による副作用は少なく、これほど抗がん剤を続けている中皮腫患者はいないと考えられることから、データを取る意味でも続けていきたいと考えている。

《問い合わせ先》

共催

名古屋労災職業病研究会
名古屋市昭和区山手通5-33-1 杉浦医院4階
TEL/FAX 052-837-7420
Email roushokuken@oregano.ocn.ne.jp
担当 成田(電話:070-5251-9840)

中皮腫サポートキャラバン隊
大阪市中央区内本町1-2-11市民オフィス内